

製品名: GCET2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21212**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:100-1:300,FC 1:100-1:300
分子量	Calculated MW:;Observed MW:20kD

抗原情報

遺伝子名	GCSAM GCSAM;GAL;GCET2;Germinal center-associated signaling and motility protein ;Germinal
別名	center B-cell-expressed transcript 2 protein;Germinal center-associated lymphoma protein;hGAL;
遺伝子 ID	257144.0
SwissProt ID	Q8N6F7
免疫原	ヒト GCET2 の組み換えタンパク質

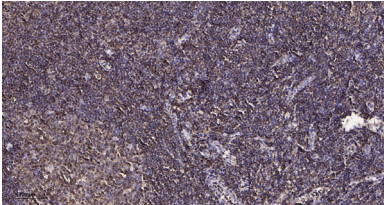
背景

細胞局在：細胞質。細胞膜。注：IL-6 処理により、細胞質からポドソーム様構造へと再局在する。この遺伝子は、シグナル伝達経路で機能する可能性のあるタンパク質をコードしており、胚細胞リンパ腫において発現が上昇している。PDZ 相互作用ドメイン、免疫受容体チロシン活性化モチーフ (ITAM) 、および SH2 結合部位と考えられる 2 つの部位を含む。B 細胞において、その発現はインターロイキン-4 によって特異的に誘導される。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。1、GCET2 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。